2016年（H28）
第4回定例会

国保料の改定案を昨年に続き否決

平成29年度値上げ案はストップ、市はくらし守れ！

平成28年第４回定例会は、12月２日から16日までの15日間行われ、議案16件（２件否決）、議員提出議案1件、決議１件、意見書8件を可決、議員１名に懲罰を科しました。又、陳情５件を了承、２件を不了承としました。

国民健康保険の料金改定は、平成25年に応益割と応能割の割合を70対30から65対35に改定、その後３年毎に改定する方針でした。しかし、26年度も改定し２年連続の値上げとなって、共産党は一貫して反対してきました。市長は28年度に向けて再び値上げを提案、議会は否決。そして今回、29年度４月から値上げ案を提案してきました。

共産党は国保加入者が年金生活者、自営業、パートなど不安定雇用者、その多くが低所得者が占めていることからも、**値上げ料金（約１億５千万円）**は直接暮らしに、そして市民一人ひとりの命と健康に影響することから反対しました。結果は反対16人、賛成は高谷。

公民館有料化の次は福祉会館

市長が福祉団体の活動にまで使用料の負担を求める

全会一致否決！

福祉団体の拠点　福祉会館

福祉会館は社会福祉協議会（社協）、ボランティア団体や障害者団体の活動拠点となっています。ところが市は**受益者負担**を理由にして条例改正を提案。内容は福祉団体が利用する場合の使用料はこれまで10割減免を適用してきましたが、改定後は５割を徴収するものでした。

共産党は福祉会館条例の「市民の福祉の推進と福祉活動の育成発展を図る」という設置目的からも、福祉団体の活動を制限し、負担を強いるものだとして反対。賛成なし全会一致で否決。因みに改定収入見込額は年間約８万円増。

消防団報酬を近隣並みに

自らの命を省みずに災害現場で働く重要な任務を担う団員報酬が国の地方交付税に見合う額より低く、近隣と比較しても一番低い問題で改善すべきと要求。「財政が厳しく検討課題」と答弁。

非常勤職員の処遇改善を

採用１年も10年経験者も、図書司書など資格と専門性があっても賃金が変わらない問題、休暇の時間取得ができない問題など改善を要求。答弁は「検討する」に止まりました。

【消防団員の報酬比較】

逗子市	地方交付税措置額
団長 年76.000円 団員 年31.000円	団長 年82.000円 団員 年36.500円

岩室年治

橋爪明子

逗子民報

日本共産党逗子市議団

2016年（H28）12月　第441号

市役所　TEL　873-1111　控室内線418
事務所　沼間2-15-4　TELFAX871-1321

みなさんの議会報告に対するご意見をお寄せください。日本共産党逗子市議会議員団

病院誘致「葵会」に決定

平成28年10月～11月に公募、２法人が応募し、選考委員会で医療法人社団葵会を決定、手続きを開始。市と協議調整を進めています。

病院誘致の歩み　病院予定地は98年は池子接収地内、それ以降は沼間3丁目の市有地

1998年（平成10）	2003年（平成15）	2006年（平成18）	2016年（平成28）
湘南病院（追浜）	**北部共済病院（田浦）**	**ヨゼフ病院（汐入）**	**「葵会」病院**
2001年**断念** →	2005年**断念** →	2009年**断念** →	計画手続中

病院誘致は、池子問題から始まり、平成10年に病院用地確保を求める意見書を可決、平成15年に病床数枠の確保を求める意見書を可決、平成14年に直接請求で病院誘致促進条例を制定。今度で４回目の誘致となります。病床数は地域医療圏で制限が設けられ、現在175床の不足があることから平井市長が再度誘致に動き始めています。

土地を貸し付けた場合の**年間賃料５３００万円**を無償とする根拠について質し、市長は「病院は地域医療に資するもので、公共性と公益性がある」と答弁しました。

【市の基本的考え方】　●用地は沼間3丁目市有地で無償貸与　●運営の財政負担はしない
●ベット数は３００床（急性期と回復期）　●小児・産科の充実　●在宅医療の後方支援病院

第４回定例会で可決した意見書案	○賛成９	×反対８
①安全安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める意見書（国） ②地域からの経済好循環の実現に向け最低賃金の改善と中小企業支援策を求める意見書（国） ③国に私学助成の拡充を求める意見書（国） ④神奈川県に私学助成の拡充を求める意見書（県）	**日本共産党2** 市政クラブ3 維新クラブ2 展望逗子2 松本（あしたの逗子）	自由民主党4 公明党2 横山（あしたの逗子）
⑤中学校給食導入促進事業補助金の創設を求める意見書（県） ⑥逗葉新道通行料金の無料化を求める意見書（県） ⑦ホームドアの設置と内方線付き点字ブロックの整備促進を求める意見書（国） ⑧安心な社会保障と強い地域経済を構築するための地方財政措置を求める意見書（国）	**全会一致可決** ※意見書は、地方自治法第99条に基づき国・米軍や神奈川県に提出できます。	

就学援助制度の改善を求める 入学準備金の前倒し支給で負担軽減を

小・中学校の**「新入学児童生徒学用品費」**の支給日が入学後８月です。大和市など時期を前倒している例を紹介し改善を求め、教育長は「他市の状況をみて検討したい」と答弁。

食缶方式で温かくおいしい中学校給食を

平成26年10月スタート、当初喫食率は約８割、その後７割と減る状況です。ボックスランチ方式は調理後、一度冷ますことから温かい給食を提供できません。甲府市は解決のため食缶方式に変更。共産党は「市も契約更新を視野に入れ検討すべき」と要求。市長は「長期的課題」、教育長は「温かいものを提供する努力をしたい」と答弁。三浦市は小学校の給食配膳の経験から問題は一切生じていません。

調理場の方式	提供する方式
自校・親子・センター（工場）	食缶　ボックスランチ

三浦市　給食の食缶を運ぶ生徒

神武寺トンネル 契約変更と工期延長

交通安全と防災からも拡幅改良工事が迫られていたトンネルです。設計変更に伴い、工事請負契約金を約１億３千万円増額、約８億８千万円に。工期も延長、平成30年３月30日に。賛成16、反対は松本。

業者を紹介する 口利きはアウト

逗子市政治倫理条例で**「特定の企業等のために有利に取り計らいをしないこと」**（口利き）と定め禁止し、議員に対し条例遵守を求めています。ところが**松本寛議員**が本会議で市長へ**「５社を紹介した、市はこれを受け入れない」**と発言。その後、６会派から**懲罰動議**が提出され、議会は懲罰を科すことを決定、本人が陳謝しました。又、議会推薦の監査委員の地位を利用し、個人的な調査を監査事務局に指示していたことも、懲罰委員会で吐露、新たな問題も明らかになり、松本寛議員に対し猛省を求め、監査委員を自ら辞するように**決議**しました。懲罰と決議とも反対は横山美奈議員のみ（本人は除斥）